

F o r e s t 通 信

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



巻頭 photo **高尾山の生きものたち**



シロスジカミキリ(カミキリ科)

今年の山野は例年に比べて昆虫類が少ないような気がします。カミキリムシ類との出会いも少なく、特に大型のカミキリムシには久しく会っておりませんでした。何と裏高尾町の畑地でやっと出会えました。

それも1匹ではなく、ペアリング中のシロスジカミキリ2匹です。1匹でも珍しい？と言えるのに2匹とは何と幸運！仲睦まじい光景を撮らせてもらいました。

シロスジカミキリは里山に生息し、ギーギーなどの音を出しますので、その所在がすぐに分かります。

(写真・文 大作栄一郎氏)



いろはの森

今年の4月から電車を乗り継ぎ2時間かけて通勤することになった。その電車の中でよく見るのが「寝ている方」「本を読む方」そして私もその一人なのだがほとんどが「スマートフォン(以下スマホという)及び携帯を操作している方」である。最近電車がよく止まる、その理由の一つに「歩きスマホ」でホームから線路へ落ちる事故又は、スマホを列車とホームの隙間に落としてしまうことがあるようで、通勤時にこのようなことが起こると時間に間に合わなくなりとても迷惑である。

電車内がかなり混んでいてもスマホの操作をやめない、いったい乗車率が何%になれば全員が操作をやめるのだろうか、そんなことを思いながら高尾山口駅で下車し周りを見てみると、そこにはスマホを握っている人はほとんどいないのである。高尾山の自然を満喫するためにスマホなど見ている場合ではないのか、平日の登山者は高齢な方が多いためスマホを持っていないのだろうか、私としては前者であって欲しいのですが・・・そんなスマホを見なくなる素晴らしい高尾山へ目の保養・心の保養をしに一度登ってみてはいかがでしょう。(や)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

森林カレッジⅡ 森に学ぶ

今年度2回目の森林カレッジを7月26日(土)に受講生22名が参加し、大平国有林内の森林ふれあい館を使用して実施しました。

午前の部として東京農業大学教授の宮林茂幸先生による「森に学ぶ～森づくり ことづくり ひとづくり」についての講義を行いました。森林及び林業の状況、先生が実際に活動されている市民参加による地域づくりなどの話に参加者はメモを取りながら興味深く受講していました。

午後は、下刈鎌を使用して国有林内防火線の下草刈りを体験していただきました。各自で鎌研ぎを行ったあと、作業場所へ移動し気温の高い中汗だくになりながら斜面の下草を刈りました。参加者からは、「非常に興味深い話だった」「専門的な内容が多かったが、大変面白く身近な話に感じられた」「先生の活動に参加してみたい」「達成感があり充実した日でした」「大変な仕事を身をもって体験した」「もっと作業をやりたい」等の感想がよせられ好評のうちに終了することができました。



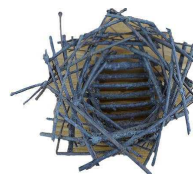
木工体験室から



高尾森林ふれあい推進センター1階の木工体験室では、教育機関や登山客など、高尾山を訪れる人に森の恵みを使った木工工作を楽しんでもらうため、指導員が常駐しています。

今回、雑誌企画の取材が入り、スヌーピーの相棒「ウッドストック」の巣を作成しました。当センター指導員・日比さんが作ったのは、長さ10cmほどの細い小枝を使った素朴な雰囲気のもので、一見シンプルに見えますが、小枝を一本一本、全体のバランスを考えてグルーガンで丁寧に接着して作り上げた逸品です。

現在センター1階の展示室では、「ウッドストックの巣」のほか、センターで実施したイベントや高尾の自然に関する展示をご覧いただけます。高尾山登山の際にはぜひお立ち寄りください。



上から見る



森林教室

八王子市立 由木中央小学校

晴天に恵まれた5月30日(金)、八王子市立由木中央小学校5年生105人が大平国有林内の森林ふれあい館にやってきました。

午前中はサクラなどの木の枝を使った「もっくん」制作です。最初は慣れない小刀でこわごわ木を削っていましたがすぐにコツをつかみ、大胆かつ器用に仕上げていました。中には葉をボンドで貼り付けて鳥の翼にしたりする子もいて、豊かな想像力が感じられました。

午後はふれあい館周辺の学習の歩道から大平林道をたどる自然観察です。勉強もしつつ、初夏の高尾山の自然に興味津々、好奇心いっぱい引率の職員及びFSスタッフを質問攻めにしていました。

1日いっぱい使った充実した森林教室が終わる頃には心地よい疲労感に包まれ、思い出ともっくんをお土産にみな元気に帰校しました。



森林教室

八王子市立 みなみ野小学校

全国的に大荒れだった天気がようやく回復し、青空が広がった6月13日(金)、八王子市立みなみ野小学校5年生110人が元気いっぱいで森林ふれあい館にやってきました。

午前中は2つの班に分かれて講義と丸太切り体験を行いました。丸太切り体験では切る人と丸太をずれないように押さえる人とで協力し合い、全員2~3枚切ることができました。FS高尾のスタッフに樹皮のむき方を教えてもらい、つるんとむけた皮の下から真っ白な木肌が出てくるのを見て、みな興奮した面持ちで喜んでいました。

午後は自然散策です。連日の雨のせいで多少ぬかるんでいたのが、慎重に山道を進みました。しかし雨にも良い点があり、みんな大好きサワガニが姿を見せ、生徒たちを歓迎してくれました。

午後から天気が崩れると予報が出ていましたが、生徒の日頃の行いが良かったせいか、天気が悪くなることもなく元気に帰校しました。



NEW

information 参加者募集中!

秋の草花が呼んでいる 裏高尾爽やかハイキング



(ツルニンジン)

森林インストラクターと一緒に、高尾山に咲く秋の花を観察しながら歩きます。

- と き** 平成26年9月17日(水) 小雨決行
- 集 合** JR 高尾駅北口 9:00
- 解 散** ケーブル山頂駅 15:00頃
- 行 程** JR 高尾駅からバス→日影バス停下車
日影～一丁平～高尾山山頂～ケーブル山頂駅(約6.3km)
- 実 施** 森林インストラクター東京会(森林ふれあい推進事業協定イベント)
- 募集人員** 30名(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費** 大人1,700円(交通費等は各自負担)
- 持ち物** 弁当、飲物、雨具、ルーペなどの観察具(あれば)など

【申込方法】

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「秋の草花ハイキング」係までお申し込みください。

★申込切 平成26年9月3日(水)必着



編集後記

8月に入ると、夏休み中の学生さんがグループで登山に来ているのをよく見かけます。皆さん1ヶ月くらいお休みあるんですね。うらやましい。学生の時北海道に住んでいたことがあります。夏休み実家に帰省して一日中寝てないで、北海道一周でもすればよかったと毎年思う8月です。学生さんは悔いの残らない夏休みを!(ま)

Forest通信H26.8.1.No.306 4

NEW

information 参加者募集中!

草木染と植物観察教室



(一例)

山で採れた木の実で染め物をしたり、植物観察や火起し・丸太切り・草笛体験にも挑戦します。

- と き** 平成26年10月5日(日)
- 集 合** JR 高尾駅北口 8:20
- 解 散** 日影沢キャンプ場前 15:30
- 実 施** 森とでんえん倶楽部(森林ふれあい推進事業協定イベント)
- 募集人員** 小学生と保護者30名
(応募者多数の場合は抽選。小学生以下の参加はご遠慮ください)
- 参加費** 小学生500円、大人1,000円/人
(保険料、材料費など含む)
- 備 考** 雨天中止の可能性あり

【申込方法】

申込方法等詳細は、「特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部HP」または高尾森林ふれあい推進センターHP内の「平成26年度森林ふれあい推進事業(協定イベント)のご案内」をご覧ください。

(特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部)

〒169-0075 新宿区高田馬場4-21-3-203

Email : moritodenen@live.jp

TEL : 03-3366-1233

FAX : 03-5338-9692

★申込切 平成26年9月5日(金)必着

Forest通信 No.306

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの

お申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

